

竹中中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月25日(月)

板井 晴輝さん
【社会福祉法人 新友会 ひまわり園】

演題 **福祉の仕事とは**



障がいを持った方の生活支援員をしている板井さん。障がい福祉を中心に福祉の仕事の説明をし、一日の仕事の流れや、実際にどういったことをしているのか、利用者さんにはどういった方がいるのかなどを詳しく説明していきました。介助や援助をするうえで「“どうして?”ということを通して理解し、そこから考えることが重要です」と話しました。

中学生の内にやって欲しいことは「感性を豊かにすることです。どんな些細なことでもよいので、例えば本を読んだり、絵を描いたり、スポーツや勉強に熱中する。福祉の世界でも感性は重要な力です。感性が豊かじゃないと、相手のことに共感や理解ができない人になってしまいます。福祉の世界では感性があるかないかが、いい支援ができるかどうかの分かれ目になります」と伝えました。

生徒の皆さんに「忙しかったり辛いことがあると自分を見失ってしまいそうになります。仕事を決めるうえで大切なことは、自分を見失わないことができるかどうかです。そして、相手に感謝ができるかどうかも大切です。自分で考える力も重要ですが、悩みや自分の気持ちを話せる人が周りにいるかどうかも大切になります。『ありがとう』を言える人になりましょう」とメッセージを送りました。

1年生1クラス。講演をこれからの仕事選びの参考にしながら聞きました。